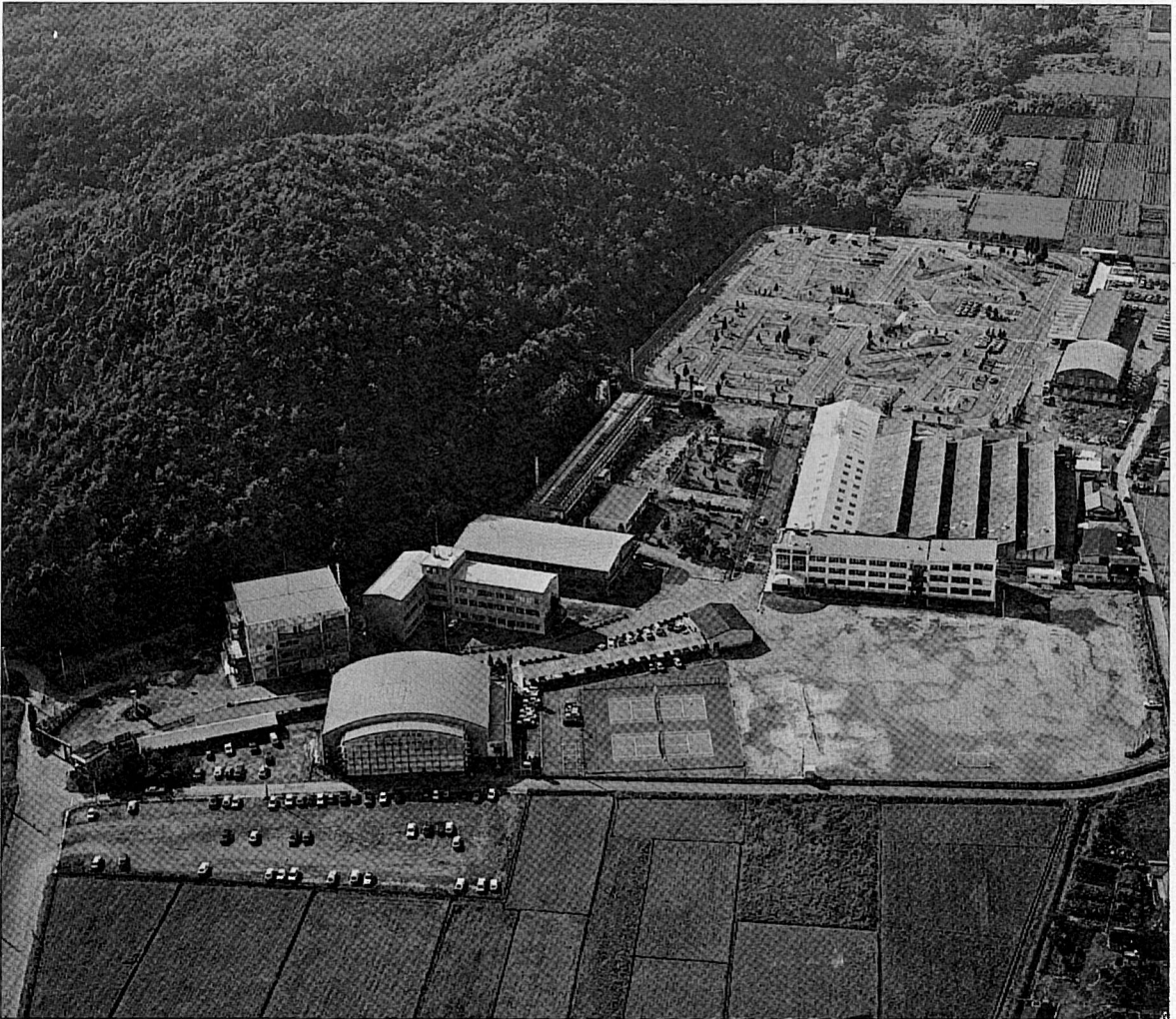


学 友 会

会 報

第3号

発行 中日本自動車短期大学学友会事務局
〒505 岐阜県加茂郡坂祝町深堂1301 ☎0574-26-7121



60年度電子機械コース設立される

グラウンド新設に向けて進行中

会報発刊にあたって



中日本自動車短期大学
学友会会長
本田 紳 基

本年も会報を発刊する時期となりました。会員のみならず方におかれましては、増々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて昭和五十八年度の事業計画も順調に実施されております。母校においては、日本で最初の車体整備コースを開設したり又、木曾川河畔に立派な学寮が建設されるなど順調な発展ぶりです。本年は入学者数も増え、我が母校ここにありといたるところです。

これら母校の着実な発展は、一重に、学長先生をはじめとして、理事並びに教職員のみならず方々の並々なぬ努力の賜物と誠に感謝に耐えません。

さて母校設立二〇周年を二年後に控えて、今年度最重要課題として取組まねばならないのが支部設立の拡大であります。これについ

ては、役員・代議員一同全力を上げて取組む所存ですのでどうかO・B諸兄のご協力をお願い致します。次に学友会館設立についてですがこれを可能なかぎり早い時期に実現したいと考えております。これはO・B諸兄の後立てなくして実現はあり得ません。どうか絶大なご協力をお願い致します。

さて話は変わりますが、前述のとおり母校もまもなく開学二〇周年を迎えるまでに成長致しました。O・B諸兄の中にも相当数、社会的にも認められる地位にいた方があると思います。どうか後輩の就職、又入学者の推薦など母校との結びつきを増々強固にして、母校共々増々の発展を願致します。

最後になりましたが、会報発刊にあたり、多大なご協力、ご援助

を賜りました教職員並びにO・B諸兄に対して厚く御礼申し上げます。

雑 感



中日本自動車短期大学
学 長
中 村 清

昭和61年度から急増する18歳人口に対応して、大学・短大などの受入れ態勢を整備するため、文部省の大学設置審議会・高等教育専門委員会が、昨年10月21日「新高等教育7カ年計画」(61〜67年度)の中間報告の発表を行い、これに対する各方面の意見を参考に、本年6月6日(昭和61年度以降の高等教育の計画的整備について)の報告が行われた。

長期的な視点に立った高等教育の整備の方向と、内容について、まず質的充実の面から、

- 1、「開かれた高等教育機関」
- (1) 単位互換、研究指導委託等

の推進

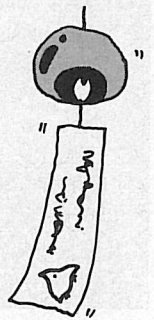
- (2) 社会人の円滑な受入れ
- (3) 履修コースの多様化
- (4) 公開講座の拡充
- (5) 社会教育、文化事業、地域産業の振興への協力

2、「高等教育の国際化」

- (1) 国立大学における外国人教員の積極的活用
- (2) 外国人留学生の受入れ態勢の整備
- (3) 帰国学生の円滑な受入れ

3、「特色ある高等教育機関」

- (1) 時代の進展に対応した整備



- (2) 新構想の大学
- (3) 放送大学の整備
- (4) 地域に開かれた短大の整備
- (5) 生涯教育の観点に立った夜間、通信教育の充実
- (6) 5年制一貫教育の特色を活かした高等専門学校整備
- (7) 専修学校の充実

の諸点が挙げられ、さらに、整備の規模の用途、地域配置の在り方等について重要項目を定め、地方に重点を置いて、国、地方自治体、学校法人の三者が地域の実情に応じた協力方式で対応することを打ち出している。

「本学が「将来計画」を考えるに当っては、つねにこれらの諸点と設置基準とのバランスの上に立つて、中日本自動車短期大学らしい特色を追求して行かねばならない」

「将来計画検討委員会」の委員諸賢のご苦勞を思うとき、胸に熱いものを感じる次第である。それだけに私としての責務は重大の度を加える訳で、慎重の上にも慎重に、誤りのない梶取りに専念しなければならぬ。

今後共、真摯な情熱をもって、取り組んで行きたいと考えている。

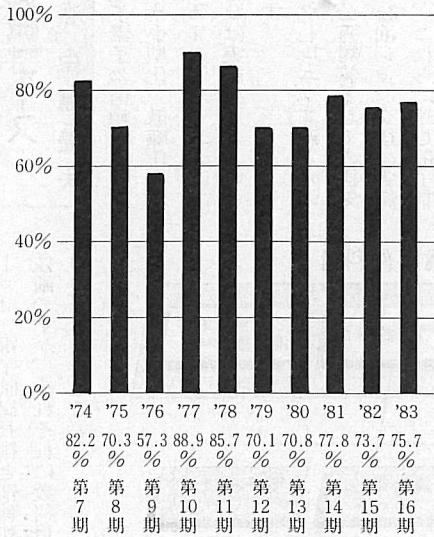
2級整備士合格率

研 修 課

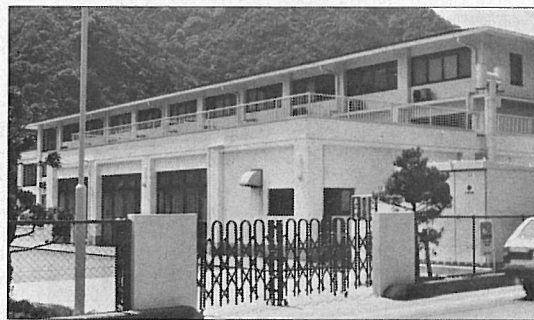
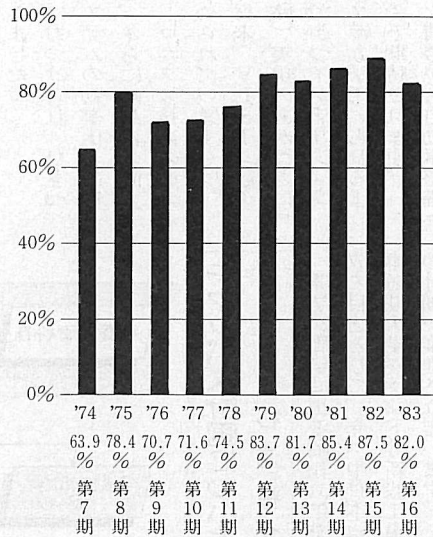
過去一〇年間の合格率は、図にみるように、ガソリン、ジーゼル

で、若干異なり、本学受験者はジーゼルの苦手としているようです。

2級ジーゼル認定試験合格率の推移 (1974~1983年)



2級ガソリン認定試験合格率の推移 (1974~1983年)



キャンパス施設について

学生部長 田中 博

早いもので、創立十八年目に入っています。念願のキャンパス整備も着々と進行していますので、機会があれば、一度母校を訪ねてみて下さい。昨年从今年にかけては、新学寮、敬愛寮が、木曽川畔に建設され、冷暖房の完備した近代的な寮で、快適な学生生活を送ることが出来るようになっていきます。8号館跡に、新しく、車体整備実習棟、ボディ・リペア・センターの完成をみました。自動車工業化でも、日本ではじめての実

習棟です。車体整備コースのカリキュラムが生まれ、学生達は、興味深く学習しています。又、学外の講習にも使われています。自動車技術の日進月歩の向上につれて、私共の学校教育も進歩していかなくてはなりません。来年度は、電装、電子工学コースを新設し、エレクトロニクス、メカトロニクスの理論、実習の設備を完備する予定です。学生総数千四百人の現在は、キャンパスには活気があふれています。小さいながらも、学生食堂は順調に営業され、創立以来失敗つづきだった食堂運営にも一つの目途がたつたようです。順調に行けば、創立二十周年には、新しいキャンパスが、出来る予定になっています。先輩諸兄の強力なご助力を念願するものです。

車体整備コース

大須賀 和美

最近どの分解整備工場でも、車体関係の内製化が進められている。これは、自動車製造技術の進歩による修理需要の減少や、車検期間延長による売上げ減少に対処するためであり、更に、省エネ軽量化によるモノコックボディの採用やFF化による作業上の目的から

でもある。これは、前後輪とも独立懸架の車が多くなり、従来のフレームアライメントがイコール、ボディアライメントとなり、分解整備作業と車体作業とを分離しては考えられなくなったことである。このような時代の変化に対応するため、本学においては一昨年間学十五周年を契機として、「車体整備コース」を開設、二級整備士資格取得の上に、更に、近代車体整備技術が選択科目として履修できるようにしたのである。

日本にはその類を見ない近代車体整備教育の実習棟も完成し、業界の注目をあび、現在初年度として二年生一四〇人が履修しており来年度はその倍数の履修ができるよう計画、高まる要望にこたえるよう努力している。

卒業生諸兄も機会があったら是非見学に立寄ってください。また合わせてご健闘を祈る。



電子機械コース

工學主任 中島達夫

近年、電子素子の信頼性向上、集積化に伴う小型化、低廉化を背景として、カーエレクトロニクスの発展・普及は実にめざましいものがあります。

カーエレクトロニクス導入のいとぐちは、公害対策としての排ガス規制と石油ショック後の省燃費の要請で、これらに対し電子制御技術の利用は大きな効果をあげることができました。

この成功に力づけられ、ひきつづき動力システムの効率化、運動性、安全性、さらに商品性の向上へとエレクトロニクス技術の導入、開発がすすめられています。

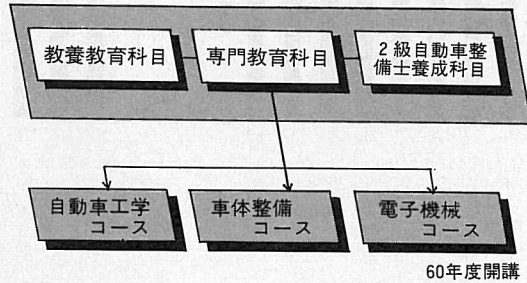
また近い将来、VLSI（超大规模集積回路）実現のあかつきにはより高度でかつインテリジェントな制御システムが用いられるようになるものと期待されます。

このような情勢から自動車整備技術も旧来の殻を破る改革が必要となってきましたが、その要請に因應するため本学においては来年度より「電子機械コース」を開設することになりました。

このコースでとりあげる主要テ

ーマは、電子制御技術と情報処理技術ですが、それぞれに数科目が開講される予定です。

卒業要件科目



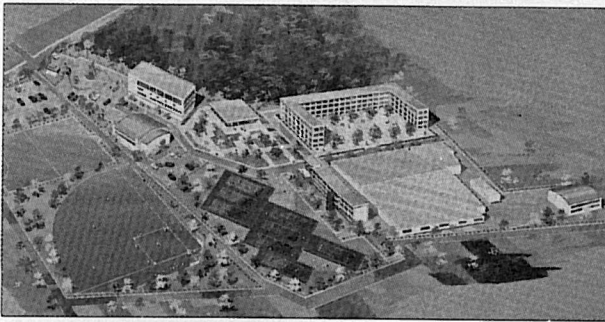
60年度開講

キャンパス計画について

事務局長 杉浦 禎宣

開学20周年に当る昭和61年を完成の目途として、今「中日本自動車短期大学グラウンド等新設工事」の計画が推進されています。

陸上競技場公認施設基準の第3種を計画の基礎として、直線135メートル（7コース）、三百メートルトラック（6コース）を確保すると共に、野球場、サッカー場としても使用可能な総合グラ



ンド施設とする青写真が描かれています。

もち論、観戦スタンド、駐車場等も併設されており、OBチーム（期別、地域別等）を軸として、教職員チームや在学生チームとの各種親睦スポーツ大会が容易に開催できる垂涎の施設構想で、場所は正門前道路の北側、現体育館の真裏に当り、二万平方メートルが予定されています。

既に農業振興地域の指定除外申請に許可が下り、土地取得の認可が得られ次第「開発許可申請」業

務に着手するべく諸準備が進められています。

計画では、本年度中に盲暗工、擁壁工、敷地沿側溝工などと共に、埋立、荒造成を行い、60年度と61年度にまたがって総合グラウンドとしての諸施設を完工することになっています。

他のキャンパス整備計画も、一昨年発表の十カ年計画に従って、着実に前進させねばなりません。全計画の実現には膨大な原資を必要としており、各位の絶大なご支援を期待するところであります。

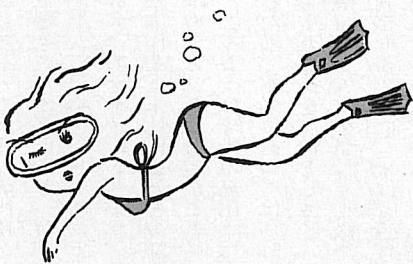
学生時代の想い出

57年度卒

マッタ(働勤務) 伊藤 洋幸

かねてからの夢が叶ってメーカーに就職することができ二年が過ぎようとしています。

幼い頃から人一倍車好きで、とにかく車に関しては何でも先取りしたいと、高校も電気科に進みました。これからの車は電気系統が主体になると考えていたからです。さらに、具体的に地元(九州)のメーカーへの就職を希望する段になって、中日本自動車短大のメーカーへの就職率がかなり高いことを知り、これなら。と入学したわ



けです。正解でしたね。その上車好きにとっては、とても面白い環境にあつたと思います。というのは、鈴鹿サーキットにも近く、オフロードでのモーターサイクルチームやカーマニアのグループが充実しているのとカーショップが多いからです。

現在は商品性実験といって、チューニング中の車の走行試験などを行っています。公道ではとてもできないこともやりますので正直言って楽しい仕事であります。が、絶えず緊張感と正確な判断が必要となるのでいい加減な気持ではできないですね。短大時代に学んだことが驚く程役立っています。

他の学校から来た人たちには負けたくないですね。自信はあります。

58年度事業計画

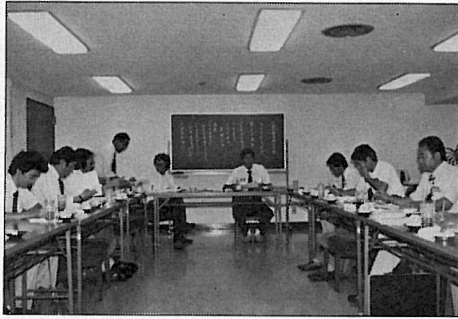
事業担当 大脇澄男

昭和58年度事業計画

- 一、同窓会の開催
 - 二、校友会館建設へ向けての活動開始
 - 三、組織の強化、拡充
 - 四、名簿の発刊
 - 五、大学側との懇談会の開催
 - 六、会報の発行
 - 七、校友会館設立準備金の積立
 - 八、新学寮、車体整備棟完成祝い
 - 九、大学諸設備の改修協力
 - 十、講演会の開催
 - 十一、大学祭への参加
 - 十二、その他
- 以上ですが最も重要と思われる校友会館設立に関して説明致します。本件は、大学当局より打診があり相方の意見が一致すれば協力してもよいとの考えが示されました。これを受けて校友会としては次のような考え方を示しています。
- 一、建設方法としては、大学将来計画の便乗方式とし、大学側が将来計画の中で建設する運動のうち同居可能な建物の一区画ないし一フロアを分担したい。
- 二、校友会としては、大学側が次

のような諸機能を持った建物を建設することを希望している。

- (1) 宿泊設備
 - (2) 大会議室
 - (3) 多目的ホール
 - (4) 学生センター
 - (5) 整備士センター
 - (6) ショッピングセンター
 - (7) 食堂、喫茶室
- 建設の時期としては、母校設立二〇周年にあたる六一年を目途に努力したい。



以上ですが何分現在の校友会は極めて弱体です。校友会館建設に向けてO・B諸兄の増々の団結と協力をお願い致します。又組織の強化に向けて支部の設立を推進しております。

58年度役員紹介

会長	本田 紳基
副会長	市川 邦彦
監事	松浦 信行 伊藤 徹
会計監査	岡田 俊治 大脇 澄男 白鳥 元章 若井 義成 柴田 義廣 中野 秀人
代議員	大原 明人 大和 加典 柴田 勝洋 水谷千賀夫 細野 満 西側 通雄 木村 寧夫 花村 直昭 井戸 豊 林 睦 松井 孝弘 横井 隆治 相庭 誠夫 金沢 恒夫 富田 清美 佐藤 幹夫 杉山 守 橋場 博道 丹地 章夫
	森 清司 中島 保晴 阿知波重春 奥山 雅人 大矢 亘 竹内 俊隆 森滝 肇 桜山 一倉 服部 勇 中山 英夫 鹿子嶋正人 青木 康敏 榊原 和原 清水 啓司 高橋 清 服部 善成

支部設立 校友会事務局



※沖縄支部

校友会員も約八千名となり、先輩諸氏においては、すでに社会的中心の立場と役割を担い活躍されており。しかしながら会員相互の連帯は今一つ不十分のように思われます。これは校友会が全国に散っていることがその大きな要因の一つです。従って事務局としては、各県あるいは地域において会員相互の連帯を深める意味で支部の結成を進めたいと願っております。この支部が全国に結成され、その支部を通して校友会運営が行われた時、校友会の発展は目覚ましいものと確信しております。

支部設置規則

- 第1条 この規則は校友会の支部設置を目的とする。
- 第2条 支部は会員の親睦を図り、本部の活動に協力し、母校の興隆に寄与するものとする。
- 第3条 支部を設置するには3名以上の代表者を定めて当該支部地域若しくは職域を示し、支部規約(細則を含む)及び加盟会員の名簿を添えて本部に届け、承認を得なければならない。ただし、同一会員は二つ以上の支部には加盟できない。
- 第4条 支部は支部長及び5名以上の役員を置かなければならない。
 1. 支部は一定の事務所を定め、支部規約、所属会員名簿、会計帳簿、その他の書類を備えなければならない。
 2. 支部は毎年5月末日までに支部長並びに役員の名簿、所属会員の動静、支部運営の状況などを文書で本部に報告しなければならない。
 3. 支部は規約の変更、役員の変替、会員の入退会、総会の開催などについてその都度本部に報告しなければならない。但し、規約の変更については本部に届け、承認を得なければならない。
- 第5条 支部がこの規則に違反する時は、その承認を取り消すことができる。
- 第6条 本規則は昭和55年10月19日から施行する。
- 第7条

各地の先輩有志諸兄には、是非とも支部設立のお願いをする次第です。勿論その旨の連絡をいたした折は、事務局としては可能な限りの支援を行うつもりです。なお支部設置規則を付託しますので参考にして下さい。

県人会紹介

関東会

顧問 小駒純一

学友会の皆様には、多忙な日々を送られていると思います。

この度、関東地方出身の在学生から、県人会を創ろうとの声がありました。県単位で組織したのでは少数に限られてしまうため、関東近県に広く有志を求め、関東会（仮称）を設立しました。

会が発足してから約二カ月、会員数約20名、具体的な活動を始めるには至っておりませんが、友情を深め親睦をはかって、学生生活をより楽しく有意義なものにしようという、彼らの意志を尊重し、できるだけ援助してゆきたいと思えます。

諸先輩の皆様も、何かとお忙しいことと推察しますが、御声援願えれば、会員一同にとって一層の励みとなるものと思っておりますので、よろしく願います。

長野県人会

顧問 中山英夫

長野県人会が、発足してから一

年目を迎えて、県人会とは何か？
本年第一回目の県人会、六月二十二日（出席者は、約半数の二十六名ではあったが）をして思ったことは、

多少でも似た自分の環境や土地を理解できる仲間との出会いにより、数時間という、短かい時間であっても有意義に、過ごせたとはいない、たとえ小さな交わりであっても、お互いの親睦を深め、交流をもつことができた。



今後は、いっそう出席者を多くして、交流を深め気をゆるせる仲間との出会いの場所にしていきたい。卒業したO・Bの中には、県人会ができていたのを知らない人が大部分だと思うが、中日本短大には、長野県人会、長野県には、中

日本O・B会の発足により、O・Bと在学生という関係をもった、有意義な会にしたいと思う。

愛知県人会

顧問 脇 俊隆

本学は、昭和42年4月に開学し、愛知県から多くの学生を集め現在もその傾向は変わりません。

そうした中で、愛知県人会の発足が望まれて久しかったのですが今年始めて生まれました。

未だ生まれて間もなく、活動は十分ではありませんが、2年生の加瀬充史君を会長として以下20人が色々と企画をし、多に、その発展が期待されるようです。

大学を卒業し、社会で奮闘されている多くの卒業生諸氏も、彼らに、「何かと役に立つ」助言等の援助を宜しく願います。

連絡先
中日本自動車短期大学
（0574）(26) 7121

- 二年六組 加瀬 充史
- 九組 斉藤 一弘
- 一組 伊藤 弘和
- 一組 鳥居 彰

三重県人会

顧問 大塚 三雄

先輩諸君におかれましては、学生時代の良き思い出と共に、社会で一層頑張っておられている事でしょう。

さて、本学において、三重県人会が桑名出身の佐野誠治君を会長に、約30名をもって結成されました。多数の目的をもった、充実した県人会になると思えます。こうした仲間達が、お互いに助け合い、協力し合い、有意義な学生生活を送ってもらいたいものです。また、三重県出身の先輩諸君におかれましては、後輩の就職の問題等々、今後いろいろな相談に乗り指導していただければ、ありがたいと思えます。

今後の三重県会の発展と共に、先輩諸君におかれましては立派な社会人として活躍されることをお祈りします。

大阪府人会

顧問 高 行男

大阪府人会は、大阪出身の学生達が一九八一年に組織したいわゆる「県人会」である。

現在、府人会は五二名で構成さ

れており、大学祭のメインである「フェスティバル」を担当する等大学祭に積極的に取組んでいます。私は最初「大阪ぶんじん会」といわれると、「大阪婦人会」を思うというようにその実体についてよく知らなかったわけですが、顧問がいなくて困っているとのこと、私も大阪生まれですので何かの縁かと、顧問を依頼に来た学生達の人柄に好感を持ったことなどから今年顧問を引き受けることになりました。

このように、大阪府人会は、学生達が自主的に組織した会ですので、顧問としては彼らの主体性を大事にしたいと考えています。同時に、府人会の活動が量、質ともに成長し、学友会の発展に大いに寄与することを期待しています。

兵庫県人会

顧問 西側通雄

兵庫県人会が発足して今年で六年目に入ります。実質的な活動は約二年間のブランクがありますがすでに四年を数えます。

現在、本会に加入しているメンバーは約二十名ですが、まだまだ増えると思えます。

本会の主な目的は、兵庫県出身者であるとして特別に限定せず、誰でも気軽に参加できるサークルとして、学生間の親睦と統制のとれた規律正しい学生生活が送れる事である。

年間のサークル活動は、すべて本会役員が企画し、その内訳はコンパが主であるが、その他に球技会、大学祭の模擬店等の参加も積極的にを行っている。今年度においてもこれらの企画は組まれている。私も兵庫県出身者OBの一員として、これらの企画に参加させて頂いていますが、実に楽しいひと時を過ごせた事に感謝し、また今後の企画に参加できる事を心待ちにしています。

今後、このサークル活動を通じて、真の友情を味わって卒業し、地元に戻り、機会あるたびに集まり語り結束を新たにするとき、すばらしい学友会兵庫支部が結成すると期待してやみません。

岡山県人会

顧問 鈴木敦巳

毎年秋になると、本学の年中行事の一つである「高校訪問」がはじまる。それぞれ決められた県下の高等学校を一週間ほど車を走ら

せて、捜しながら訪問をするのである。永年、岡山県を担当していた大須賀先生にかわって昨年の秋一週間、岡山県下をまわった。わずかな期間ではあったが不思議なことに、岡山県に自分の生れ育った土地に似た愛着を覚えたのである。岡山県で出会った高校の先生方や、旅館の人、車を止めて道をたずねた人たちが、みんな感じの良い人々であったせいだろうか。

今年の春、大須賀先生に四月二十六日、岡山県人会があるから出席するように言われました。自分は岡山県人ではないのになあ」と思いつつ、「はい、出席します。」とふたつ返事をしてしまった。場違いの気もしたが出席してみると、いつもの学生とは別人のように、はつらつとしているのに驚いた。故郷から遠く離れて生活をしていると、同郷はよほどいいものらしい。

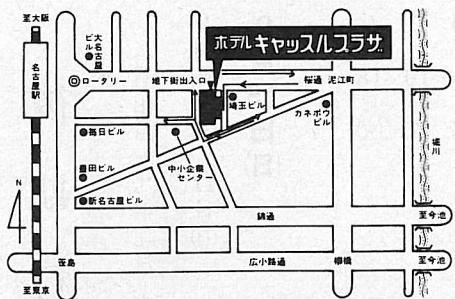
又、岡山出身の鹿子嶋先生や清水先生も参加され、さらに楽しい会になった。ただ、現在フィリピンに行っている高橋先生が参加できなかったのは残念であった。

学友会同窓会・総会のお知らせ

今年度の同窓会開催が以下のごとく決定しました。

名称 中日本自動車短期大学学友会
会 昭和五十八年度同窓会
日時 昭和五十九年九月十六日(日) 十二時三十分～十五時
会場 ホテルキャッスルプラザ
TEL(052) 582-2121(代)

案内図



昨年と同様、今回も名古屋で開催されることになりました。

昨年は北は北海道、南は広島から百名近い卒業生が参加し、旧友と、そして恩師との想い出話しに花が咲き、ゲーム・チャリティーの他、当然のカラオケや、母校ブラスバンド部の生演奏もあつたりして、楽しい一時を過ごすことができました。

チャリティーは、みなさんの協力で三万二千五百円が集まり、交通遺児へと願い、中日新聞社会事業団へ寄託しました。

交通遺児のために
3万余円を寄託
自動車短大友会
「交通遺児のために」と同日、中日本自動車短大友会(本田紳基会長、加茂郡坂祝町)が中日新聞社会事業団に三万二千五百円を寄託した。

昭和58年10月6日 新聞中

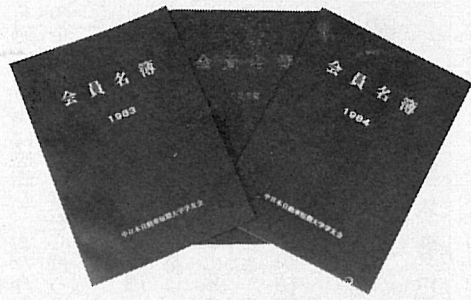
今年も諸々の企画が考えられているようです。昨年以上の同窓会になるようにこぞって参加して下さい。なお準備の都合上、同封ハ

ガキにて八月三十一日までに出欠の連絡をしていただきますようお願いいたします。



第五回定期総会(代議員会)
日時 昭和五十九年九月十六日(日) 十時三十分～十二時
会場 ホテルキャッスルプラザ 会議室
TEL(052) 582-2121(代)

会員名簿のお知らせ



周年(昭和六十二年)には総合名簿として再編集し、より良いものにしていく予定です。

会報等の発送は名簿を使用してありますが毎年、相当多数が宛先人不明として返信されてきます。住所・氏名・勤務先が変更された場合は直ちに、中日本自動車短期大学・学友会事務局までご連絡下さるようお願い致します。又、その折にはご面倒でもO.B諸兄の学生番号を、学生番号不明の場合は入学年度・何組かをご記入下さいば事務処理の上で大変助かりますのでよろしくお願い致します。また友人の消息をお知りの方も合せてご連絡下されば幸いです。

中日本自動車短期大学、学友会会員名簿も一昨年、十五期までの総合名簿が完成し、昨年三月には十六期単期名簿が、今年三月には十七期単期名簿が完成し総合名簿と共にO.B諸兄には、先輩・後輩同期の学友との連絡等に、ご活用いただける事になりました。名簿作製委員会では、毎年より良いものにするため万全の努力を致しておりますが、現在八千名に及ぶO.B諸兄の住所・勤務先等の変更には、なかなか十分な対応ができない状況にあり何かと迷惑をかけている次第です。開学二十

後 期 行 事 予 定

昭和四十九年九月～五十年三月

9月10日(月)～17日(月) 前期定期試験

9月16日(日) 第5回

学友会総会及び同窓会

9月18日(火) 2年後期オリエンテーション

9月19日(火) 1年後期オリエンテーション

10月1日(月) 後期講義開始

10月6日(土) 2級ジーゼル講習会開始

10月11日(木) 入学願書受付開始

10月20日(土)～22日(月) 大学祭

11月10日(土) 入学試験

12月1日(土) 入学試験

12月21日(金) 冬期休暇開始

12月22日(土) 入学試験

1月11日(金) 講義開始

2月2日(土) 後期講義終了

2月4日(月) 後期定期試験開始

2月9日(土) 後期定期試験終了

3月9日(土) 入学試験

3月15日(金) 卒業式

3月24日(日) 2級自動車整備士認定試験

編集後記

昨年9月28日の夜、記録的な豪雨となり、木曾川が汎濫し美濃加茂市内が水害に遭いました。みなさんがよくご存じの、OSパチンコ、OSボールの駐車場の車が完全に水没し、ボーリング場の天井まで水が来たそうです。みなさんも水害のひどさが想像できると思っています。水は7時間ぐらいで引いたそうですが、よく日から市内は大交通渋滞で車が通るたびにものすごいほりが舞上る状態でした。本学学生も勝山において数名被害を受けました。また国道41号線が通行止めや渋滞で授業にも多少支障をきたしました。しかし国道や美濃加茂市内は、10ヵ月たった今現在ではその痕跡すら見られないほど復旧しました。この活力は驚くほどです。学友会も、この活力には及びませんが、みなさんの協力を得て、より活発に、より充実した学友会をめざして頑張ってくださいと思います。

また、紙面にてO.B同志の、情報交換の場を設けたと思いますので、いろいろなおたより、情報・苦情・etc.....をおよせください。

編集部

総合名簿 (一期～十七期) 二五〇〇円
十六、十七期単期名簿 五〇〇円
申込み先
〒五〇五
岐阜県加茂郡坂祝町深萱一三〇一
中日本自動車短期大学学友会
事務局
☎(〇五七四)二六一七二二